

脳神経外科 2005 年年報

1. 研究業績

原著論文—欧文

1. Yoshino Y, Niimi Y, Song JK, Silane M, Berenstein A.
Endovascular treatment of intracranial aneurysms: comparative evaluation in a terminal bifurcation aneurysm model in dogs.
J Neurosurg. 101(6):996-1003. 2004
2. Yatsushige H, Yamaguchi M, Zhou C, Calvert JW, Zhang JH.
Role of c-Jun N-terminal kinase in cerebral vasospasm after experimental subarachnoid hemorrhage.
Stroke 36:1538-1543, 2005
3. Yoshino Y, Niimi Y, Song JK, Khoyama S, Shin YS, Berenstein A.
Preventing spontaneous thrombosis of experimental sidewall aneurysms: The oblique cut.
AJNR 26:1363-1365, 2005
4. Shin YS, Niimi Y, Yoshino Y, Song JK, Silane M, Berenstein A.
Related Articles, Links Creation of four experimental aneurysms with different hemodynamics in one dog.
AJNR 26(7):1764-7. 2005.
5. Orakcioglu B, Schuknecht B, Otani N, Khan N, Imhof HG, Yonekawa Y.
Distal posterior inferior cerebellar artery aneurysms: Clinical characteristics and surgical management:
Acta Neurochir. 147(11):1131-1139, 2005
6. Otani N, Bjeljac M, Muroi C, Weniger D, Khan N, Wieser HG, Curcic M, Yonekawa Y.
Awake surgery for glioma resection in eloquent areas - Zurich's experience and review-
Neurologia medico-chirurgica 45(10), 2005.
7. Toyooka T, Miyazawa T, Fukui S, Otani N, Nawashiro H, Shima K
Central neurogenic hyperventilation in a conscious man with CSF dissemination from a pineal glioblastoma.
J Clin Neurosci.;12(7):834-7. 2005
8. Nawashiro H, Otani N, Uozumi Y, Ooigawa H, Toyooka T, Suzuki T, Katoh H, Tsuzuki N, Ohnuki A, Shima K, Shinomiya N, Matsuo H, Kanai Y.
High expression of L-type amino acid transporter 1 in infiltrating glioma cells
Brain Tumor Pathology ,2005

原著論文—和文

1. 高里良男
シンポジウム—総評 重症頭部外傷管理:スタンダードと新しい試み
神経外傷 27:84-89, 2005.
2. 高里良男、大友康裕、辺見 弘、長野みさ子、斉藤麗子
天然痘発生時訓練
日本集団災害医学会誌 Vol.9, No.3: 323-330, 2005.
3. 高里良男
循環管理のための ME 機器の特徴と取り扱い

BRAIN NURSING 21:836-841、2005

4. 竹内 誠、川口 務、中谷 充、大谷直樹、石原秀章、魚住洋一、宮澤隆二、加藤 裕、築地伸介、苗代 弘、島 克司

両眼眼瞼下垂と両側眼球上転障害を呈し、瞳孔異常であった中脳出血の1例

脳神経 57(10): 899-901, 2005

単行本—欧文

1. Takasato Y, Hayakawa T.

Multidisciplinary treatment including brain hypothermia for severe brain injury.

Minimally Invasive Neurosurgery and Multidisciplinary Neurotraumatology, Springer-Verlag Tokyo,

PP; 343-349. 2005

単行本—和文

1. 高里良男

多発外傷における神経外傷

脳神経外科体系: 神経外傷 感染・炎症性疾患 山浦 晶総編集、児玉南海雄、川瀬 斌、吉田 純、橋本信夫

編集 pp205-212、中山書店、東京、2005

口頭発表—国際学会

1. Takasato Y, Hayakawa T.

Multidisciplinary treatment including brain hypothermia for severe brain injury.

3rd World Congress of the Academy for Multidisciplinary Neurotraumatology, Nagoya, Japan, March, 2005.

2. Osumi A, Nawashiro H, Otani N, Ooigawa H, Toyooka T, Yano A, Nomura N, Shima K.

Alteration of gap junction proteins (connexins) following lateral fluid percussion injury in rats.

Brain edema, Minnesota, U.S.A, May 2005.

3. Yatsushige H, Yamaguchi M, Zhou C, Calvert JW, Colohan ART, Zhang JH

Role of c-Jun N-terminal Kinase in cerebral vasospasm of subarachnoid hemorrhage.

XXIInd International Symposium on Cerebral Blood Flow, Metabolism, and Function & VIIIth

International Conference on Quantification of Brain Function with PET (Brain'05 & BrainPET'05)

Amsterdam, The Netherlands, June, 2005.

4. Fujioka M, Otani N, Orakcioglu B, Khan N, Imhof HG, Yonekawa Y.

Conventional microsurgical clipping of contralateral aneurysms of the middle cerebral artery—Analysis on 14 cases -

Swiss joint meeting for microsurgery for cerebrovascular disease, St. Gallen, Switzerland, October, 2005.

口頭発表—国内学会・研究会

- 1 太田禎久、倉本憲明、島田栄治、今江省吾、宮脇博基、早川隆宣、正岡博幸、高里 良男.

Covered stent により治療した Carotid Blowout Syndrome の 2 例.

第 10 回日本脳神経外科救急学会 名古屋、1 月、2005.

2. 宮脇博基、高里 良男、正岡博幸、太田禎久、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、山本崇裕、武川麻紀.

亜急性期硬膜下血腫例の検討.

第 11 回多摩神経外傷カンファレンス 東京、2 月、2005.

3. 宮脇博基、高里 良男、正岡博幸、早川隆宣、太田禎久、今江省吾、菅原貴志、山本崇裕、武川麻紀
SAH で発症した PICA 末梢部の解離性動脈瘤の 1 例.
第 55 回日本救急医学会関東地方会 千葉、2 月、2005.
4. 早川隆宣、高里 良男、正岡博幸、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、北橋章子、帯包雄次郎、武川麻紀
von-Hippel Lindau 病家系に生じた側脳室三角部腫瘍の 1 例.
第 3 回多摩脳腫瘍研究会 東京、3 月、2005.
5. 山本崇裕、高里良男、正岡博幸、太田禎久、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、武川麻紀
低髄液圧症候群の 2 例
第 28 回日本脳神経 CI 学会総会 香川、3 月、2005.
6. 宮脇博基、高里良男、正岡博幸、太田禎久、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、山本崇裕、武川麻紀
外傷性亜急性硬膜下血腫の検討.
第 28 回日本神経外傷学会 埼玉、3 月、2005.
7. 山本崇裕、高里良男、正岡博幸、太田禎久、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、武川麻紀
減圧開頭症例における外傷性水頭症の検討.
第 28 回日本神経外傷学会 埼玉、3 月、2005.
8. 正岡博幸、高里良男、正岡博幸、太田禎久、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、山本崇裕、武川麻紀、
本間正人
重症頭部外傷患者に対する脳低温療法の脳循環代謝測定についての検討.
第 28 回日本神経外傷学会 埼玉、3 月、2005.
9. 早川隆宣、高里良男、正岡博幸、太田禎久、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、山本崇裕、武川麻紀
3D-SSP によるびまん性軸索損傷例の局所脳血流低下パターン.
第 28 回日本神経外傷学会 埼玉、3 月、2005.
10. 武川麻紀、高里良男、正岡博幸、太田禎久、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、帯包雄次郎
好酸球増多症候群に内頸動脈閉塞を伴った 1 例.
第 96 回日本脳神経外科学会関東地方会 東京、4 月、2005.
11. 今江省吾、高里良男、正岡博幸、太田禎久、早川隆宣、菅原貴志、宮脇博基、山本崇裕、武川麻紀
高齢者脳主幹動脈急性閉塞に対する局所動注血栓溶解療法および脳低温療法についての検討.
第 18 回日本老年脳神経外科学会 富山、4 月、2005.
12. 帯包雄次郎、高里良男、正岡博幸、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、武川麻紀
診断に苦慮したクモ膜下出血発症、前大脳動脈解離性動脈瘤の 1 例.
第 31 回多摩脳神経外科懇話会 東京、4 月、2005.
13. 今江省吾、高里良男、正岡博幸、早川隆宣、菅原貴志、宮脇博基、帯包雄次郎、武川麻紀
最近 5 年間の脳動脈瘤の治療成績
第 15 回お茶の水セミナー 東京、4 月、2005.
14. 早川隆宣、高里良男、正岡博幸、太田禎久、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、帯包雄次郎、武川麻紀
クモ膜下出血後の前頭葉機能の検討.
第 30 回日本脳卒中学会 岩手、4 月、2005.
15. 今江省吾、高里良男、正岡博幸、太田禎久、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、帯包雄次郎.

高齢者脳主幹動脈急性閉塞に対する局所動注血栓溶解および脳低温療法についての検討.

第30回日本脳卒中学会 岩手、4月、2005.

16. 魚住洋一、苗代弘、大谷直樹、加藤裕、都築伸介、北秀幸、島克司.
椎骨動脈閉塞性病変のMRIおよびMRA画像所見.
第30回日本脳卒中学会 岩手、4月、2005.
17. 武川麻紀、高里良男、正岡博幸、太田禎久、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、帯包雄次郎.
白血病に伴う頭蓋内出血の予後の検討.
第30回日本脳卒中学会 岩手、4月、2005.
18. 太田禎久、武川麻紀、山本崇裕、宮脇博基、菅原貴志、今江省吾、早川隆宣、正岡博幸、高里良男.
当院におけるPrimary Intraventricular Hemorrhage の検討
第30回日本脳卒中学会 岩手、4月、2005.
19. 宮脇博基、高里良男、正岡博幸、太田禎久、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、帯包雄次郎、武川麻紀.
Chronic encapsulated expanding hematoma の2例.
第30回日本脳卒中学会 岩手、4月、2005.
20. 菅原貴志、高里良男、正岡博幸、太田禎久、早川隆宣、今江省吾、宮脇博基、帯包雄次郎、武川麻紀.
Terson 症候群をきたしたクモ膜下出血20例の臨床的検討.
第34回日本脳卒中の外科学会 岩手、4月、2005.
21. 正岡博幸、高里良男、太田禎久、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、帯包雄次郎、武川麻紀.
血腫型重症クモ膜下出血に対する脳低温療法を加えた集学的治療の検討.
第34回日本脳卒中の外科学会 岩手、4月、2005.
22. 宮脇博基、高里良男、正岡博幸、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、北橋章子、帯包雄次郎、武川麻紀.
頸髄手術後の脊髄空洞症の1例.
第14回多摩脊椎脊髄カンファレンス 東京、5月、2005.
23. 帯包雄次郎、成相 直、前原健寿、田中洋次、百瀬俊也、松島善治、青柳 傑、大野喜久郎.
モヤモヤ病患者術後長期経過の脳循環動態—perfusion weighted MRI による評価の有用性—.
第33回日本小児神経外科学会 奈良、5月、2005.
24. 武川麻紀、高里良男、正岡博幸、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、帯包雄次郎.
内頸動脈閉塞を伴った好酸球増多症候群の1例.
第19回日本神経救急学会 東京、6月、2005.
25. 高里良男、早川隆宣.
重症頭部外傷における脳低温療法役割.
第19回日本神経救急学会 東京、6月、2005.
26. 正岡博幸、高里良男、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、北橋章子、帯包雄次郎、武川麻紀、本間正人.
重症くも膜下出血に対する脳低温療法.
第8回日本脳低温療法学会 香川、7月、2005.
27. 今江省吾、高里良男、正岡博幸、早川隆宣、菅原貴志、宮脇博基、北橋章子、帯包雄次郎、武川麻紀、石井洋介.
脳主幹動脈急性閉塞に対する局所動注血栓溶解療法と脳低温療法の治療成績.
第8回日本脳低温療法学会 香川、7月、2005.

28. 高里 良男、早川隆宣
頭部外傷データベースにおける重症頭部外傷に対する脳低温療法の分析.
第 8 回日本脳低温療法学会 香川、7 月、2005.
29. 武川麻紀、高里良男、正岡博幸、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、北橋章子、帯包雄次郎、石井洋介.
神輿の最中に発症した若年性内頸動脈解離の 1 例.
第 12 回多摩神経外傷カンファレンス 東京、7 月、2005.
30. 武川麻紀、高里良男、正岡博幸、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、北橋章子、帯包雄次郎、石井洋介.
神輿の最中に発症した若年性内頸動脈解離の 1 例.
第 16 回新お茶の水セミナー 東京、9 月、2005.
31. 早川隆宣、高里良男、正岡博幸、大谷直樹、ハツ繁 寛、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、北橋章子、帯包雄次郎、武川麻紀.
3D-SSP を用いた頭部外傷の脳血流の臨床的検討.
第 16 回新お茶の水セミナー 東京、9 月、2005.
32. 高里良男、正岡博幸、早川隆宣、大谷直樹、ハツ繁 寛、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、北橋章子、帯包雄次郎、武川麻紀.
重症頭部外傷における脳低温療法の役割.
第 16 回新お茶の水セミナー 東京、9 月、2005.
33. 石井洋介、高里良男、正岡博幸、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、北橋章子、帯包雄次郎、武川麻紀.
発症から 6 年後に再出血した椎骨脳底動脈解離の 1 例
第 97 回日本脳神経外科学会関東地方会 東京、9 月、2005.
34. 正岡博幸、高里良男、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、北橋章子、帯包雄次郎、武川麻紀、本間正人.
重症くも膜下出血に対する脳低温療法の有効性の検討.
第 64 回日本脳神経外科学会総会 横浜、10 月、2005.
35. 佐藤洋平、磯谷栄二、田中洋次、百瀬俊也、戸根 修、帯包雄次郎、佐々木正史、長崎弘和、原 睦也、青柳 傑、大野喜久郎.
perfusion MRI および SPECT を用いた頸動脈ステント留置術前後の脳血流の評価
第 64 回日本脳神経外科学会総会 横浜、10 月、2005.
36. 早川隆宣、高里良男、正岡博幸、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、北橋章子、帯包雄次郎、武川麻紀.
3D-SSP による頭部外傷における局所脳血流低下領域の分析.
第 64 回日本脳神経外科学会総会 横浜、10 月、2005.
37. 大谷直樹、藤岡政行、矢野大仁、米川泰弘.
鞍結節部髄膜腫摘出における選択的硬膜外前床突起骨削の有用性.
第 64 回日本脳神経外科学会総会 横浜、10 月、2005.
38. 福井伸二、大谷直樹、苗代弘.
アミノ酸トランスポーターLAT1 の発現から見た悪性神経膠腫と正常脳の境界.
第 64 回日本脳神経外科学会総会 横浜、10 月、2005.

39. 大角篤司、苗代弘、鈴木隆元、大谷直樹、大井川秀聡、豊岡輝繁、矢野明子、野村奈美子、島克司。
ラット閉鎖性頭部外傷モデルにおけるギャップ結合蛋白の発現とその役割について。
第 64 回日本脳神経外科学会総会 横浜、10 月、2005.
40. 帯包雄次郎、高里良男、正岡博幸、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、武川麻紀。
亜急性硬膜下血腫 8 例の検討。
第 64 回日本脳神経外科学会総会 横浜、10 月、2005.
41. 今江省吾、高里良男、正岡博幸、早川隆宣、菅原貴志、宮脇博基、北橋章子、帯包雄次郎、武川麻紀。
脳主幹動脈急性閉塞に対する局所動注血栓溶解療法と脳低温療法の治療成績
第 64 回日本脳神経外科学会総会 横浜、10 月、2005.
42. 本間正人、正岡博幸、早川隆宣、高里良男。
技術シンポジウム『複合外傷の救急体制と脳神経外科の役割』：出血性損傷を伴う重症頭部外傷の診療 strategy
第 64 回日本脳神経外科学会総会 横浜、10 月、2005.
43. 武川麻紀、高里良男、正岡博幸、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、北橋章子、帯包雄次郎。
白血病に伴って発症した頭蓋内出血 10 例の検討
第 64 回日本脳神経外科学会総会 横浜、10 月、2005.
44. 八ツ繁寛、山口満夫。
脳血管攣縮における c-Jun N-terminal kinase(JNK)の役割
第 64 回日本脳神経外科学会総会 横浜、10 月、2005.
45. 嶋村則人、大熊洋揮、山口満夫、八ツ繁寛。
抗インテグリン $\alpha v \beta 3$ ペプチドによる神経保護作用の検討
第 64 回日本脳神経外科学会総会 横浜、10 月、2005.
46. 早川隆宣、高里良男、正岡博幸、大谷直樹、吉野義一、八ツ繁寛、菅原貴志、宮脇博基、北橋章子、帯包雄次郎、
武川麻紀。
著明な石灰化を伴い壊死像を呈した下垂体腫瘍の症例。
第 4 回 多摩脳腫瘍研究会 東京、10 月、2005.
47. 今江省吾、高里良男、正岡博幸、早川隆宣、菅原貴志、宮脇博基、北橋章子、帯包雄次郎、武川麻紀。
内頸動脈急性閉塞に対する局所動注血栓溶解療法および脳低温療法の治療成績
第 21 回日本脳神経血管内治療学会総会 和歌山、11 月、2005.
48. 武川麻紀、高里良男、正岡博幸、早川隆宣、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、北橋章子、帯包雄次郎、戸根
修。
上矢状洞静脈洞に発生した硬膜動静脈瘻に対し NBCA を用いて塞栓術を行った 1 例。
第 21 回日本脳神経血管内治療学会総会 和歌山、11 月、2005.
49. 武川麻紀、高里良男、正岡博幸、早川隆宣、吉野義一、大谷直樹、八ツ繁寛、菅原貴志、宮脇博基、北橋章
子、帯包雄次郎。
白血病に伴った頭蓋内出血 10 例の検討。
第 26 回多摩地区脳卒中研究会 東京、11 月、2005.
50. 早川隆宣、高里良男、正岡博幸、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、北橋章子、帯包雄次郎、武川麻紀、倉本憲
明。
3D-SSP を用いたびまん性軸索損傷例における局所脳血流の分析。
第 45 回日本核医学会総会 東京、11 月、2005.

51. 帯包雄次郎、高里良男、正岡博幸、早川隆宣、吉野義一、大谷直樹、ハツ繁 寛、菅原貴志、北橋章子、武川麻紀、戸根 修、富田博樹。
クリッピング術後にコイル塞栓術を追加した6例。
第 32 回多摩脳神経外科懇話会 東京、12 月、2005.
52. 大角篤司、豊岡輝繁、大谷直樹、大井川秀聡、苗代弘、島克司。
閉鎖性頭部外傷モデルにおけるギャップ結合蛋白の発現とその役割について。
第 17 回神経損傷の基礎シンポジウム 東京、12 月、2005.
53. 帯包雄次郎、高里良男、正岡博幸、早川隆宣、吉野義一、大谷直樹、ハツ繁寛、菅原貴志、北橋章子、武川麻紀。
Von Hippel Lindau 病家系に生じた側脳室血管芽腫の一例。
第 98 回日本脳神経外科学会関東地方会 東京、12 月、2005.

2. 資料

1) 研究班, 受託研究

1. 高里良男

国立病院機構多施設共同研究

「国立病院機構下の病院の黒字運営、機能評価向上について」

2. 高里良男、ハツ繁 寛

国立病院機構多施設共同研究(EBM 推進のための大規模臨床研究)

人工栄養(中心静脈栄養もしくは経腸栄養)を行う際の医療行為の安全性、患者予後に関する観察研究

3. 早川隆宣、高里良男、正岡博幸、大谷直樹、吉野義一、ハツ繁 寛

(社)日本損保保険協会 2004 年度 交通事故医療に関する臨床的研究助成

頭部外傷後の高次機能に対する3D-SSP による脳血流評価の有用性

4. 高里良男、早川隆宣

頭部外傷データバンク委員会(日本神経外傷学会)

治験 (1 件)

受託研究 (4 件)

2) 学会・研究会等の座長

1. 高里良男

座長：研究発表

第3回 多摩脳腫瘍研究会 東京 (武蔵野日赤講堂) 2005.3.12

2. 高里良男

座長：中枢神経 1

第 55 回日本救急医学会関東地方会 千葉 (幕張メッセ) 2005.2.19

3. 高里良男

座長：シンポジウム『災害と異常環境における神経損傷』

第 28 回日本神経外傷学会 埼玉 (大宮ソニックシティホール) 2005.3.25

4. 高里良男

座長：症例Ⅱ

第19回日本神経救急学会 東京（慈恵医大第1講堂） 2005.6.18

5. 高里良男

座長：重症脳卒中

第8回日本脳低温療法学会 香川（高松市文化芸術ホール） 2005.7.16

6. 高里良男

「脳腫瘍の診療、治療状況について」「新しい脳腫瘍治療薬に関して」

脳腫瘍座談会 東京（六本木イースト1） 2005.6.29

3) 講演

1. 高里良男

シンポジウム『災害と異常環境における神経損傷』

我が国における災害医療の現状および災害時の神経損傷

第28回日本神経外傷学会 埼玉（大宮ソニックシティホール） 2005.3.25

2. 早川隆宣、高里良男、正岡博幸、今江省吾、菅原貴志、宮脇博基、北橋章子、帯包雄次郎、武川麻紀

iNRT2 を用いた脳 T1 SPECT と MRI の Fusion

第6回 3D-SSP 検討会 東京 2005.9.16

4) 入院、手術統計

入院患者総数	1 0 1 5	手術総数	3 7 7 件
腫瘍	5 2	うち緊急手術	1 9 9
脳血管障害	4 3 7	脳腫瘍直接手術	2 6
外傷	4 0 5	動脈瘤直接手術	4 9
先天異常	1	AVM直接手術	5
感染	2	他の脳血管手術	2 6
脊椎、脊髄	3 5	外傷手術	8 4 (CSDH 50)
その他	8 3	先天異常手術	0
ベッド数	5 8 床	脊椎、脊髄手術	0
		定位脳手術	2 7
		血管内手術	3 1 (動脈瘤 17)
		神経血管減圧術	0
		その他	1 5 6

入院患者統計・手術件数統計 (2001年-2005年)

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
入院患者数	871	898	921	1081	1015
手術患者数	433	402	414	461	377

